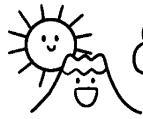




# ひのでたより

令和8年1月5日  
ひので保育園



あけまして  
おめでとうございます

新しい年のスタートに、キラキラした笑顔で登園してきた子どもたち。日に日に寒さが増していますが外で元気いっぱい遊んでいます。今年も保護者の方々と子どもたちの成長の喜びを分かち合いながら、心温まる一年を過ごしていきたいと思います。  
本年もどうぞよろしくお願いいたします。



**アクアリウムが設置されました！**



「お魚さんたちおはよう！」



「これエビじゃない？」



「みせて、みせて！」給食後は、混雑中です。

椅子に座ってゆっくり見よう。



**いまアクアリウムの中には…**



ぶれこ



おれんじらいや—モーリー



らすぼらへてろ



やまとぬまえび



ふりすてら

**こんな熱帯魚やエビが暮らしています。ぜひのぞいて探してみてくださいね。**

アクアリウムには、『観察力と科学的な好奇心を育む』『情緒の安定とリラックス効果』があります。これから、中にいる熱帯魚たちの種類も増えていくそうですよ。楽しみですね。

## 【お知らせ】

• 今年度の卒園式は、3月7日(土)を予定しています。





## 子どもへの言葉かけ NGフレーズをチェンジ!

子どもとのやりとりで、なかなか言う事を聞いてくれずに困ったことはありませんか？  
今回は、子どもが次の行動に切り替えやすい言葉かけをご紹介します。



× 何でやらないの？



○ どうしたの？

否定疑問で言うと子どもは責められているような気持ちになり、心を閉ざしやすいです。否定せずに行動の理由を聞くと子どもは寄り添ってくれると感じます。



どうしたの？

× 早く来なさい！



○ みてみて！面白いよ

命令口調で強制すると子どもは反発しやすく結局時間がかかってしまいがち…。楽しそうなものを見つけ、興味を引いて自分から動くように促しましょう。



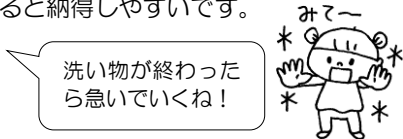
みてみて  
面白いよ

× ちょっと待って



○ 終わったらすぐ行くよ

「待って」と言うことがダメというわけではありません。ただ、対応する意思があるよと伝えておくと、子どもはちゃんと話を聞いてもらっていると納得しやすいです。



洗い物が終わったら急いでいくな!

× △△しちゃダメ!



○ ▲▲しようね

否定の言葉だけだと、どうすればいいか理解できません。やめてほしい行動は「ストップ」と防いで目を見て伝えます。望ましい行動を端的な言葉で伝えましょう。



ストップ!  
歩こうね



## 「えらいね」「いいこだね」よりもはるかに効く！効果抜群のほめ方

「ほめて育てましょう」と子育てではよく言われますが、どうやってほめたら子どもは、もっとうれしいのでしょうか？ポイントが2つあります。

① ほめるときに「えらいね」「いいこだね」の代わりに「できたね」を使う！

たとえば、お片付けができた時には「お片付けできたね」と言うと自分のしたことをきちんと大人がわかってくれたと感じてうれしくなり、「ありがとう」「助かったよ」と感謝を伝えると自己肯定感を高めてくれます。

② ほめるときに、「気持ちをほめる」

たとえば、友だちにおもちゃを貸してあげた時には「おもちゃ貸せたね。優しいね」「ママもうれしいな」など子どもや大人の気持ちを言葉にしてあげることで、自分がしたことによる相手へのいい影響を振り返りやすくなり、うれしさがさらにアップすることになります。



ぜひ試してみてくださいね。